

日本喘息学会誌 投稿規定

1. 編集方針

『日本喘息学会誌』(The Japanese Journal of Asthma, 日喘息誌, JJA) (以下, 本誌) は, 一般社団法人日本喘息学会 (以下, 本会) の機関誌として, 喘息に関する基礎および臨床の研究成果などを発表する。

2. 投稿要件

- ・投稿論文は他誌に発表されておらず, かつ投稿中でないものとする。
- ・投稿の手続きや論文の内容に責任を有する指導的立場にある著者を「論文責任者」とし, 論文内容に関して共著者の確認を得る。
- ・論文責任者が本会の会員であれば, 筆頭著者や共著者は会員である必要はない。ただし, 筆頭著者が会員でない場合は, 投稿と同時に本会に入会することが望ましい。
- ・著者数は特に制限なし。

3. 投稿論文の採否

論文の採否は, 複数の査読者の意見をもとにして編集委員会が決定する。

4. 論文の分類

- ・論文は「1. 原著」, 「2. 症例報告」, 「3. 総説」, 「4. 短報」, 「5. Letters to the Editor」に分類する。
- ・「総説」は編集委員会が企画するが投稿も受け付ける。

1) 原著

- ・基礎研究あるいは臨床研究に基づく未発表の和文論文とする。
- ・原稿は原則として引用文献を含め「12,000 文字以内」とし, 表・図・写真は「400 文字/点」で換算し, 15 点以内とする。
- 1 論文につき, 本会が 50,000 円を負担する。

2) 症例報告

- ・原稿は原則として図表と引用文献を含め「6,000 文字以内」とする (表・図・写真は 1 点を「400 文字」で換算する)。
- ・1 論文につき本会が 25,000 円を負担する。

3) 総説

原則として編集委員会が企画するが, 投稿も受け付ける。掲載料は原著に準じる。

4) 短報

原稿は原則として引用文献を含め 3,000 字以内, 図表合せて 2 枚以内, 掲載料は原著に準ずるが本会からの負担はない。

5) Letters to the Editor

最近 6 か月以内の本誌の掲載論文に関連する意見あるいは喘息に関連する意見を本欄に投稿できる。本文 (引用文献 3 編までを含む) と図表を合わせて 1,500 字以内とし, 図表は 1 枚 400 字として換算する。採否は編集委員長の判断による。掲載料金は原著の場合に準ずるが, 本会からの負担はない。

6) 補刷

補刷を発行できる。規定は別途定める。

5. 論文の構成（それぞれ改頁の上で頁数を記載する）

- 1) 表題頁：表題（30 文字以内）、著者名、会員番号、所属機関名、e-mail アドレス
- 2) キーワード（5 語以内、和文・英文併記）と略語一覧
- 3) 和文要旨（300 文字以内）
- 4) 緒言
- 5) 研究対象・方法
- 6) 結果
- 7) 考察
- 8) 謝辞
- 9) 引用文献 文献数制限なし
 - ・学会誌 著者（1 名）、et al（他）、表題、誌名（略称）、西暦；巻：頁 - 頁。
 - ・単行本 著者（1 名）、et al（他）、表題、In：編集者、ed. 書籍名、出版社所在地、出版社名、西暦；巻：頁 - 頁。
- 10) 英文要旨（250 語以内）
 - ・表題、著者名、所属機関名
 - ・背景・目的（Background）、方法（Methods）、結果（Results）、結語（Conclusion）などに分けて記載する（「症例報告」「総説」はこの限りではない）。
- 11) 図・表・写真
 - ・「400 文字/点」と換算する（図や写真を a, b, c など分割して掲載する場合は点数に応じ、2 分割であれば 800 文字、3 分割であれば 1,200 文字などと換算する）。
 - ・図表類は必ず本文中で引用、明示する。

6. 著者校正

著者校正は 1 回とし、校正用データで写真・画像の鮮明度、図表の組み上がりを確認する。

7. 掲載料

投稿原稿については、次の基準により料金を申し受ける（所要の経費は以下に定める）。

- ・組版代：5,000 円/頁、表作成代：1,500 円/点、図版代：900 円/点、写真版代：900 円/点
- ・トレース代：実費
- ・用紙・印刷代（1 頁）4,000 円（ただし、カラー印刷の場合は実費分の全額を著者が負担する）

8. 別刷

著者の希望に基づき「50 部単位」で作製する（費用は著者負担とし、個別に見積金額を提示する）。

9. 論文閲覧

「掲載から 1 年以内」の論文は Web サイトにて会員限定で公開し、1 年を経過した論文は Web サイトの会員限定の制限を解く。

10. 採用論文の公開

採用が決定した論文は「Article in press」として表題と要旨を本会 Web サイトで公開する。

11. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は日本喘息学会に帰属する。

12. 著作権使用料

非営利目的での使用は無償とし（学会事務局への連絡が必要）、営利目的の場合は規定に基づき有償とする。

13. 原稿表記, 原稿作成の方法など

1) 原稿表記

(1) 略語:

- ・初出時に語彙の後にフルタームを () 内に記して, 原則として新しい略語を用いない.
- ・やむを得ない場合は国際刊行物を参照して適切な略語を選択する.

例: 慢性閉塞性肺疾患 (chronic obstructive pulmonary disease, COPD) 文中以下「COPD」

(2) 外来語, 外国人名など:

- ・慣用訳のないものは英文などのままを用いる.
- ・動物, 植物, 細菌などの学名は, 初出時は斜体 (イタリック体) としてフルタームを記載し, 次以降は属名の語頭の 1 字のみを大文字にして, ピリオドの前を半角あける.

例: 初出「*Streptococcus pneumoniae*」→文中以下「*S. pneumoniae*」

種名を示さない場合は属名を省略しない「*Streptococcus* 属」「*Streptococcus* sp.」

- ・本文中の外来語は, 固有名詞 (人名, 商品名など) と行頭を除き, 原則として小文字を用いる.

(3) 薬剤名:

- ・一般名で記載する.
- ・商品名を記載する必要がある場合は初出時に一般名に続けて「商品名:」と記載する.

(4) 度量衡:

- ・単位には m, cm, mm, μ , nm, mL, μ L, kg, g, mg, μ g, ng, Torr などを用いる.
- ・「リットル」は大文字「L」を用いる. 「%」のみは全角で表記する.

(5) 上付き文字, 下付き文字:

- ・的確に記載する.

例: 「 β_2 刺激薬」→「 β_2 刺激薬」, 「SpO₂」→「SpO₂」, 「FEV₁, FEV_{1.0}」→「FEV₁」

(6) 数量を表す場合: 算用数字を用い, 成語はそのまま用いる (例: 同一, 1 回, 1 度など).

(7) 引用文献:

- ・本文中に文献番号を順番に記載して, 本文末に列挙する.
- ・巻数の記載を欠く場合には, 通し号数または発行年月日を記入する.
- ・インターネットで閲覧する論文などの場合は「URL および閲覧日」を記載する.
- ・論文末の頁数は原則として 1 頁目の頁数と同位の数字を省略する.
- ・原則として未公開論文は引用文献に採用しない (掲載が決定している場合は「in press」として記載する).
- ・共著者名は全員を列挙する.
- ・英文誌名は原則として Index Medicus の略称を用いる.

2) 原稿作成

(1) Word ファイルの設定: A4 判, 1 頁 32 字×25 行程度として, 文字は和文・明朝体 12 ポイントとする. 数字, 英字は半角文字で記載する.

(2) タイトル・要旨での略語: 汎用されている略語を使用し, 新しい略語はスペルアウトする.

(3) 個人情報の保護: 本文あるいは図・写真・表のいずれにおいても個人情報を特定できないように配慮する. 日付については, 臨床経過を知る上で必要な場合に, 個人が特定できないように年月を記載する.

(4) 図表番号など: すべての図・写真・表の番号を, 本文中で必ず対応させる.

(5) 画像ファイル: 印刷に十分な鮮明度とサイズとする (線画の解像度は 600 dpi 以上, 写真の解像度は 300 dpi 以上で, 幅 2,000 pixel 以上).

(6) 表: 画像ファイルではなく, テキストの修正が可能な Excel などで作成する.

14. 原稿の送付方法

論文投稿は, 近く電子投稿システムの運用を予定しているが, 運用を開始するまでは下記の

学会事務局にメールにて投稿されたい。
一般社団法人日本喘息学会事務局
「日本喘息学会誌」担当係 宛て
e-mail: info@jasweb.or.jp

15. 倫理規定

- ・ 臨床研究の場合は、ヘルシンキ宣言に基づいて行われなければならない。同時に施設内倫理委員会により、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針、遺伝子治療臨床研究に関する倫理指針、または、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に準拠した研究計画の承認を受けた旨を本文中に記載する。また、研究対象者に対して説明や同意取得を行った場合には、その旨も本文中に記載する。
- ・ 動物実験の場合は、動物実験の適正な実施に向けたガイドラインなどを参照して科学的および倫理的規範に準じて行い、施設のガイドラインに準拠する。
- ・ 論文の内容によっては、公的あるいはそれに準ずる機関、専門学会などからの指針を参考にして、編集委員会から別途関連事項について確認する場合がある。
- ・ 薬剤や医療機器を適応外使用した論文を投稿する場合には、事前にその使用に関して施設において倫理的検討がなされた旨を本文中に記載する。

16. 利益相反

- ・ 投稿論文にかかる研究について、他者との利害関係の有無を記載した利益相反（conflict of interest）に関する開示書（別紙：規定書式）を提出する。
- ・ 提出後に、日本喘息学会より利益相反に関して確認のための連絡をする場合がある。

一般社団法人日本喘息学会
日本喘息学会誌編集委員会
2024年3月31日

日本喘息学会誌 自己申告による COI 報告書

筆頭著者（自署）： _____

論文種類（○で囲む）：原著・症例報告・総説・短報・Letters to the Editor

論文題名： _____

共著者： _____

（著者全員について、投稿時点の前の年から過去3年間を対象に、発表内容に関する企業・組織または団体とのCOI状態を記載する）

項目	該当の有無	「有」の場合 該当者名、企業・団体名などを記載
1) 報酬額 1つの企業・団体から年間100万円以上	有・無	
2) 株式の利益 1つの企業・団体から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上を保有	有・無	
3) 特許使用料 1件につき年間100万円以上	有・無	
4) 講演料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	
5) 原稿料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	
6) 研究費・助成金などの総額 1つの企業・団体からの研究経費を共有する講座、分野あるいは研究室などに支払われた総額が年間100万円以上	有・無	
7) 奨学（奨励）寄附金などの総額 1つの企業・団体からの奨学寄附金を共有する講座、分野あるいは研究室などに支払われた総額が年間100万円以上	有・無	
8) 企業などが提供する寄附講座に所属している場合 実質的に用途を決定し得る寄附金の総額が年間100万円以上のものを記載	有・無	
9) 旅費、贈答品などの受領 1つの企業・団体から年間5万円以上	有・無	

（本 COI 申告書は論文掲載後2年間保管されます）

（申告日） 年 月 日

論文責任者（自署） _____ ㊞